

学習計画表

年度	学期	科目		担当
2022	秋	高校現代文明論①	単位数 1	名和 優子
(到達目標) 自らに「人生如何に生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培う。				
高校通信講座	あり	講座数：全 18 回	教科書	東海大学出版 新編高校現代文明論
スクーリング	1 時間× 3 回	合格時間数 1 時間以上	教材	なし
レポート	全 3 枚	合格枚数 3 枚		
期末試験	なし			

○シラバス 授業進度表

回	配信 日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (〆切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	10/7	現代文明論とは		第 1 回 10/16 (日) 10/12 (水) 校長講話
2	10/7	東海大学の源と望星学塾 (1)	第 1 回 11 月 4 日	現代文明論とは何か。思想を培うとはどのようなことなのか。東海大学建学にあたり、創設者が語り続けたその思想を学ぶとともに、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立する方法を学ぶ。 副教材『明日へのメッセージ』
3		東海大学の源と望星学塾 (2)		
4	10/21	無装荷ケーブル、発明のヒント		
5		望星高校の誕生		
6	11/4	ヨーロッパの中のデンマーク	第 2 回 12 月 2 日	第 2 回 12/4 (日) 11/16 (水) 『共生社会を目指して』(名和) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を前提に、人が互いに尊重し協働して社会を形作って いく上で共通に求められるルールやマナーを学び、規範意識などを育むとともに、人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどうのように生きるべきかなどについて、考えを深め、自らの生き方を考える。
7		情報をいかに受け止めるか		
8	11/18	人間生活にいる動物たち		
9		身近なリサイクル ～リサイクルから環境問題を考える		
10	12/2	子どもの貧困	第 3 回 1 月 6 日	第 3 回 1/15 (日) 1/18 (水) SNS などスマホ利用について (名和) 携帯電話 (スマホ) を利用する際に守ってほしいルールやマナー、覚えておいてほしいスマホ・ケータイやインターネットにかかわるトラブルや事件・事故の事例を紹介し、子どもたちが自らの判断でリスクを回避する能力を身に付けていくための授業。
11		外来生物について考えよう		
12	12/16	日本の医療制度		
13		「生きる」とは～孔子に学ぶ		
14	12/30	異文化理解	期末試験： なし 試験範囲： ※	
15	1/6	情報モラル		
16				
17				
18	1/20	人間としての あり方生き方を考える①		
19	1/27	人間としての あり方生き方を考える②		
20	1/27	人間としての あり方生き方を考える③		

教 科	科 目		担 当 者
学校設定科目	高校現代文明論	単位数：2単位	名和 優子
指導目標 自らに「人生如何に生きるべきか」と問いかね、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培う。			
高校通信講座	あり	講座数：全18回	教科書 東海大学出版 新編高校現代文明論
スクーリング	1単位時間×3回	合格時間数1時間以上	学習図書 自校作成の教材資料を使用
レポート	全6回	合格枚数3枚	副教材 なし
期末試験	なし		評定 100点法5段階評定

## ○シラバス 授業進度表

回	配信日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (〆切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	10/7	現代文明論とは		校長講話 10/16(日) 11/18(金) 現代文明論とは何か。思想を培うとはどのようなことなのか。東海大学建学にあたり、創設者が語り続けたその思想を学ぶとともに、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立する方法を学ぶ。 副教材『明日へのメッセージ』
2	10/7	東海大学の源と望星学塾(1)	第1回 11月4日	12/4(日) 10/21(金) 『共生社会を目指して』(名和) 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を前提に、人が互いに尊重し協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルールやマナーを学び、規範意識などを育むとともに、人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどうのように生きるべきかなどについて、考えを深め、自らの生き方を考える。
3		東海大学の源と望星学塾(2)		
4	10/21	無装荷ケーブル、発明のヒント		
5		望星高校の誕生		
6	11/4	ヨーロッパの中のデンマーク	第2回 12月2日	
7		情報をいかに受け止めるか		
8	11/18	人間生活にいる動物たち	第3回 1月6日	
9		身近なリサイクル ～リサイクルから環境問題を考える		
10	12/2	子どもの貧困		
11		外来生物について考えよう		
12	12/16	日本の医療制度		1/15(日) 12/23(金) SNSなどスマホ利用について(名和) 携帯電話(スマホ)を利用する際に守ってほしいルールやマナー、覚えておいてほしいスマホ・ケータイやインターネットにかかわるトラブルや事件・事故の事例を紹介し、子どもたちが自らの判断でリスクを回避する能力を身に付けていくための授業。
13		「生きる」とは～孔子に学ぶ		
14	12/30	異文化理解		
15	1/6	情報モラル		
16				
17				
18	1/20	人間としてのあり方生き方を考える①		
19	1/27	人間としてのあり方生き方を考える②	期末試験：なし 試験範囲：	
20	1/27	人間としてのあり方生き方を考える③	※	

教 科	科 目		担 当 者	
学校設定科目	音楽鑑賞 A	単位数： 1 単位	佐々木 優子	
指導目標 音楽作品の鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 音楽作品や演奏、作曲家などについて理解を深めることができるようにする。 (2) 音楽作品や演奏について、根拠を明確にして批評することができるようにする。 (3) 音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。				
高校通信講座	あり	講座数：全9回	教科書	なし
スクーリング	2 単位時間×3 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全3回	合格枚数 3 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	100 点法 5 段階評定

回	配信日付	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
1	/			第1回 11/6 (日) 10/12 (水) 〈DVD サウンドオブミュージック鑑賞〉
2	10/5	エピソードのある名曲	第1回 11月 2日	ミュージカルの歴史を確認し、ミュージカル映画として大ヒットした作品を鑑賞する。このミュージカルから生まれた数多くの名曲が、どのシーンでどのように使われたかを知る。
3	/			
4	10/19	交響曲・管弦楽曲		
5	/			
6	11/2	ミュージカル		
7	/		第2回 11月 30日	第2回 12/18 (日) 11/16 (水) 〈DVD オペラ トゥーランドット鑑賞〉 オペラにおけるソリストと合唱団の関係、声域(ソプラノ・メゾソプラノ・テノール・バリトン)による配役の特徴を知る。またこのオペラから生まれた、単独でも演奏される名曲が、どのシーンでどのように使われたかを知る。
8	11/16	オペラ・声楽曲		
9	/		第3回 12月 28日	第3回 1/29 (日) 1/18 (水) 〈DVD ベートーヴェン 第九交響曲鑑賞〉 オーケストラの楽器の配置、指揮者の役割、楽曲の構成を確認する。初めて交響曲に合唱を取り入れた4楽章の「歓喜の歌」を鑑賞し、楽曲の構成を知り、親しまれるこの曲への知識を深める。
10	11/30	クリスマスソング		
11	/			
12	12/14	室内楽曲・協奏曲		
13	/		期末試験： なし	
14	12/28	「動物の謝肉祭」		
15	/			
16	/			
17	/			
18	1/18	現実音入りの曲		
19	/			
20	1/25	秋学期を振り返って		

教 科		科 目		担 当 者	
学校設定科目		社会研究②		単位数：1 単位	
				椿 友輔 ・ 田村 基成	
指導目標					
2022 年 4 月 1 日より、成年年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられた。成年年齢を 18 歳に引き下げることにより、18 歳、19 歳の方の自己決定権を尊重し、かつ、積極的な社会参加を促すことが期待されている。そのため、「法」というものについての学習を深めることで社会の発展と豊かな人間生活の実現に貢献することを目的とする。					
高校通信講座	なし		教科書	なし	
スクーリング	1 単位時間×1 回 2 単位時間×1 回	合格時間数 3 時間	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	なし	
期末試験	なし		評 定	100 点法 5 段階評定	
観点別評価基準 (ルーブリック)			レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
<p>①「知識及び技能」については、指導目標における学習の過程を過ぎた知識及び技能の習得状況について評価する。：第 1 回レポート・第 3 回目レポート</p> <p>②「思考力、判断力、表現力等」については、知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。：第 1 回目レポート・第 3 回レポート</p> <p>③「主体的に学習に取り組む態度」については、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。：第 2 回レポート</p> <p>観点別評価『A』：「十分満足できる」状況と判断されるもの            観点別評価『B』：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの            観点別評価『C』：「努力を要する」状況と判断されるもの</p>			第 1 回:12/9(金) 第 2 回:12/20(火) 第 3 回:1/17(火)	<p>&lt;面接指導(1 単位時間)&gt;            11/6 (日)、11/20(日)、11/30 (水)、            12/2 (金)            ※いずれかのスクーリングに出席すること            &lt;面接指導の内容&gt;            三権分立に関する学習と            校外学習についての事前指導</p> <p>&lt;校外実習日(2 単位時間)&gt;            最高裁判所 見学            12/6(火) 14:30 集合厳守</p>	

教 科	科 目		担 当 者
学校設定科目	理科研究	単位数：1 単位	松本一生・武政晃弘

## 指導目標

環境・医療・生命などに関する課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。日本列島は複雑な地質と山岳に富む地形で、四季の変化が明瞭である。地形的にも気候的にも複雑な自然環境での多様な生き物たちを学び、科学的視点を持って思考を深める

高校通信講座	なし		教科書	なし
スクーリング	1 単位時間×1 回 2 単位時間×1 回	合格時間数 3 時間	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	なし
期末試験	なし		評 定	100 点法 5 段階評定

観点別評価基準 (ルーブリック)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)
<p>①「知識及び技能」については、指導目標における学習の過程を過した知識及び技能の習得状況について評価する。</p> <p>②「思考力、判断力、表現力等」については、知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p> <p>③「主体的に学習に取り組む態度」については、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p> <p>観点別評価『A』：「十分満足できる」状況と判断されるもの            観点別評価『B』：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの            観点別評価『C』：「努力を要する」状況と判断されるもの</p>	<p>第 1 回: 12/9(金)            第 2 回: 12/20(火)            第 3 回: 1/17(火)</p>	<p>面接指導(1 時間)            11/4(金)、11/6(日)、11/16(水)、11/20(日)            ※いずれかに参加            校外実習(3 時間)            12/1(木)            内容            地形的にも気候的にも複雑な自然環境での多様な生き物たちを学び、科学的視点を持って思考を深める。            レポートは、面接指導・校外学習を通じて作成する。</p>

## 2022年度秋学期 教育計画

東海大学付属望星高等学校

教 科		科 目		担 当 者	
学校設定科目		ステップアップ英語 a		単位数：1 単位	
				高倉 洋子	
指導目標 英語学習の土台となるボキャブラリーを増強し、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能を高める。					
高校通信講座	なし		教科書	なし	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	東京書籍 コーパス 3000	
レポート	全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	東京書籍 ワークブック	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1				第 1 回 10/16(日) 10/21(金) 高校基礎	
2			第 1 回 11 月 1 日	STAGE 1 p.12~p.52 Lesson 1~Lesson18	
3				語彙の発音を復習し、表現を練習する。	
4			第 2 回 11 月 29 日	c	
5					
6			第 3 回 12 月 27 日	第 2 回 12/4(日) 11/18(金)	
7				高校基礎	
8				STAGE 2 p.53 -p.98 Lesson 1~Lesson20	
9				語彙の発音を復習し、表現を練習する。	
10					
11					
12					
13				第 3 回 1/15(日) 12/23(金)	
14				高校基礎	
15				STAGE 3 p.99 -p.144 Lesson 1~Lesson20	
16				語彙の発音を復習し、表現を練習する。	
17					
18					
19			期末試験：2/7 (火)		
20			試験範囲：レポート第 1 回～第 3 回 提出物：ワークブック		